

## 令和4年度 介護ロボットメーカー連絡会議の開催について

### 1. 開催の背景

生産年齢人口が減少していく一方、介護ニーズが増大していく中で、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっています。

現在、介護分野における福祉用具・介護ロボット（以下、「介護機器」という。）は、様々な介護分野で、様々な主体により利用されており、今後さらに活用を推進するためには、介護現場のニーズをふまえた開発、介護現場への周知・体験機会の創出、機器を活用した介護技術・業務改善方法の構築等、開発・導入・普及・活用それぞれのフェーズで時宜を得た取組を実施する必要があります。

厚生労働省では、「令和4年度・介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」という。）において、介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速化するために、地域における介護ロボットのニーズ側（介護現場等）・シーズ側（開発企業等）の一元的な相談窓口（地域拠点）、開発実証のアドバイス等を行うリビングラボのネットワーク、実際の介護現場における実証フィールドからなる、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームを整備することとしています。

こうした背景のもと、関係企業に対して行政の動向及び介護ロボットに関する最新の取り組み状況等について周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護ロボット開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的とした「介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議」）」を開催することに致します。

### 2. 事務局

本会議は、「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」における介護機器の普及に係る取組の一環として位置付け、当協会が行います。

公益財団法人テクノエイド協会 担当：谷田、松本、根石、五島  
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階  
電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885  
E-mail [robocare@techno-aids.or.jp](mailto:robocare@techno-aids.or.jp)

### 3. 参加、呼びかけ等

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含みます。）
- 「ロボット介護機器開発等推進事業」において採択され、既に商品化したロボット介護機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含みます。）
- 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護ロボットメーカー

- 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないことと致します。）
- ※ 参加呼びかけにあたっては、これまでの参加名簿に基づく当協会からの周知に合わせ、経済産業省及び産業技術総合研究所、日本医療研究開発機構、日本ロボット工業会、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会、日刊工業新聞等のマスコミにも周知をお願いいたします。

#### 4. 参加申し込み

会場とWebでの開催とします。

ただし、新型コロナウイルス感染症を予防する観点から、Web開催のみに変更する場合があります。

##### 【参加方法】

テクノエイド協会のホームページの申込フォームからご登録下さい。

[http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab24\\_detail](http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab24_detail)

※) 会場での参加は、100名の先着順となります。



##### 【参加費】

無料

#### 5. 開催内容

- (1) 日時：令和4年6月17日（金）10時00分～14時40分
- (2) 場所：四ツ谷 主婦会館プラザエフ 7階 カトレア  
Web参加ご希望の方には、後日会議への招待アドレスを送信いたします。
- (3) 内容：下記の通り

##### 【第1部】

(行政報告)

##### ①介護ロボットに係る施策の動向<各20分>

10:10~10:50

厚生労働省老健局高齢者支援課介護ロボット開発・普及推進室 室長補佐 佐々木憲太 氏  
経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 補佐 南須原美恵 氏  
(情報提供)

##### ②福祉用具・介護ロボット実用化支援事業について<40分>

10:50~11:30

公益財団法人テクノエイド協会 五島清国

- ・介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組みについて  
アドバイス支援及びモニター調査事業等の実施
- ・介護ロボット地域フォーラムの開催について
- ・都道府県における介護ロボットの開発・導入に係る助成事業について
- ・介護ロボットの試用貸出リスト等について
- ・福祉用具等の安全利用に関する情報の整理・報告・発信について
- ・その他、令和4年度の主な事業の予定について

##### ③介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業について<20分>

11:30~11:50

株式会社NTT データ経営研究所 先端技術戦略ユニット シニアマネージャー 足立圭司 氏

～ 休憩 ～

**【第2部】**

(取組報告) <各20分>

- ④プラットフォーム事業におけるリビングラボの機能について **12:40～13:20**  
スマートライフケア共創工房 柴田智広 氏
- ⑤プラットフォーム事業における相談窓口の役割について  
とちぎ福祉プラザモデルルーム 伊藤勝規 氏

(基調報告) <各20分>

- ⑥テクノロジーを活用した介護・高齢者向けサービスの開発と活用について **13:20～14:20**
- ・介護現場におけるICTを活用したケアの実践と開発企業との関わり（仮称）  
社会福祉法人隆生福祉会 加藤正人 氏
  - ・骨格認識AIによる見守り支援システムのモニター調査を終えて（仮称）  
エコナビスタ株式会社 渡邊君人 氏
  - ・高齢者向けサービスの利便性向上に向けたICTの活用について  
西日本電信電話株式会社 高木康彦 氏  
ハッピーベル株式会社 福森鉄雄 氏

- 質疑応答 <20分> **14:20～14:40**
- ・会場及びWeb参加者

～ 閉会 ～